

總督へ御下賜の駿馬

栗毛の逸物馬關に到着す
に送り寺内總督に届ける等なる
が二頭とも栗毛にして年齢は
半前九十四分年にして馬關に到着
し貨車の後部内に於て保管し天
候極めて平穩なる日を
待ちて連絡船にて朝鮮
に送りしものと承はるる間

總督官邸の祝盆

其日其夜祝盆の市
十一日の祝盆は朝来暖かな日
空は少し曇つて居たけれども何
處も日の光に埋められ早朝から
盆の準備は進められて居る

李王殿下及び

李王殿下及び
李王殿下及び
李王殿下及び

自轉車遠乗員苦戦の巻

水原まで十里の道を六時間
自轉車を以て往くは
自轉車を以て往くは

釜山の魚の値

釜山の魚の値
釜山の魚の値
釜山の魚の値

汽船難破

汽船難破
汽船難破
汽船難破

前代議士の罪亡し行脚

前代議士の罪亡し行脚
前代議士の罪亡し行脚
前代議士の罪亡し行脚

暴風帆船十八隻を覆へす

暴風帆船十八隻を覆へす
暴風帆船十八隻を覆へす
暴風帆船十八隻を覆へす

紀元節

紀元節
紀元節
紀元節

甘川の鐵橋下に爆薬を埋む

甘川の鐵橋下に爆薬を埋む
甘川の鐵橋下に爆薬を埋む
甘川の鐵橋下に爆薬を埋む

邦人漂著

邦人漂著
邦人漂著
邦人漂著

佛船火災

佛船火災
佛船火災
佛船火災

愛蘭の海上にて

愛蘭の海上にて
愛蘭の海上にて
愛蘭の海上にて

橋の鍵を盗む

橋の鍵を盗む
橋の鍵を盗む
橋の鍵を盗む

羅馬使節へ記

羅馬使節へ記
羅馬使節へ記
羅馬使節へ記

念品贈呈

念品贈呈
念品贈呈
念品贈呈

青年會の講演

青年會の講演
青年會の講演
青年會の講演

夏の牛長靴

夏の牛長靴
夏の牛長靴
夏の牛長靴

陽炎がゆく

陽炎がゆく
陽炎がゆく
陽炎がゆく

親しみ深い家族

親しみ深い家族
親しみ深い家族
親しみ深い家族

唯だ長閑な水

唯だ長閑な水
唯だ長閑な水
唯だ長閑な水

紀元節



佛船火災

佛船火災
佛船火災
佛船火災

愛蘭の海上にて

愛蘭の海上にて
愛蘭の海上にて
愛蘭の海上にて

邦人漂著

邦人漂著
邦人漂著
邦人漂著

甘川の鐵橋下に爆薬を埋む

甘川の鐵橋下に爆薬を埋む
甘川の鐵橋下に爆薬を埋む
甘川の鐵橋下に爆薬を埋む

自轉車遠乗員苦戦の巻

自轉車遠乗員苦戦の巻
自轉車遠乗員苦戦の巻
自轉車遠乗員苦戦の巻

李王殿下及び

李王殿下及び
李王殿下及び
李王殿下及び

總督官邸の祝盆

總督官邸の祝盆
總督官邸の祝盆
總督官邸の祝盆

栗毛の逸物馬關に到着す

栗毛の逸物馬關に到着す
栗毛の逸物馬關に到着す
栗毛の逸物馬關に到着す

釜山の魚の値

釜山の魚の値
釜山の魚の値
釜山の魚の値

汽船難破

汽船難破
汽船難破
汽船難破

前代議士の罪亡し行脚

前代議士の罪亡し行脚
前代議士の罪亡し行脚
前代議士の罪亡し行脚

暴風帆船十八隻を覆へす

暴風帆船十八隻を覆へす
暴風帆船十八隻を覆へす
暴風帆船十八隻を覆へす

紀元節

紀元節
紀元節
紀元節

甘川の鐵橋下に爆薬を埋む

甘川の鐵橋下に爆薬を埋む
甘川の鐵橋下に爆薬を埋む
甘川の鐵橋下に爆薬を埋む

邦人漂著

邦人漂著
邦人漂著
邦人漂著

佛船火災

佛船火災
佛船火災
佛船火災

愛蘭の海上にて

愛蘭の海上にて
愛蘭の海上にて
愛蘭の海上にて

橋の鍵を盗む

橋の鍵を盗む
橋の鍵を盗む
橋の鍵を盗む

羅馬使節へ記

羅馬使節へ記
羅馬使節へ記
羅馬使節へ記

海軍には泰然たる方、強い勇士が居る。海軍には泰然たる方、強い勇士が居る。海軍には泰然たる方、強い勇士が居る。

水兵は夏でも半長の靴を穿く。水兵は夏でも半長の靴を穿く。水兵は夏でも半長の靴を穿く。

夏の牛長靴。夏の牛長靴。夏の牛長靴。夏の牛長靴。夏の牛長靴。夏の牛長靴。夏の牛長靴。夏の牛長靴。

陽炎がゆく。陽炎がゆく。陽炎がゆく。陽炎がゆく。陽炎がゆく。陽炎がゆく。陽炎がゆく。陽炎がゆく。

親しみ深い家族。親しみ深い家族。親しみ深い家族。親しみ深い家族。親しみ深い家族。親しみ深い家族。親しみ深い家族。親しみ深い家族。

唯だ長閑な水。唯だ長閑な水。唯だ長閑な水。唯だ長閑な水。唯だ長閑な水。唯だ長閑な水。唯だ長閑な水。唯だ長閑な水。

桑苗 魯桑接木 確實強販賣。桑苗 魯桑接木 確實強販賣。桑苗 魯桑接木 確實強販賣。桑苗 魯桑接木 確實強販賣。

小生儀過般來上京研學中の處今般歸院す。小生儀過般來上京研學中の處今般歸院す。小生儀過般來上京研學中の處今般歸院す。小生儀過般來上京研學中の處今般歸院す。

大物類各種足袋問屋。大物類各種足袋問屋。大物類各種足袋問屋。大物類各種足袋問屋。大物類各種足袋問屋。大物類各種足袋問屋。大物類各種足袋問屋。大物類各種足袋問屋。

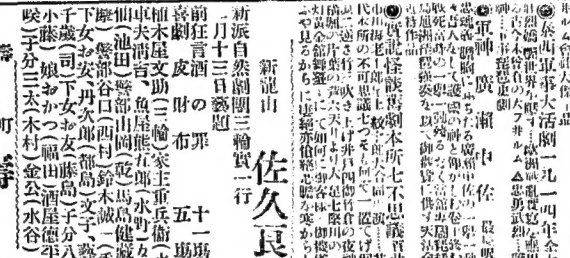
開店廣告。開店廣告。開店廣告。開店廣告。開店廣告。開店廣告。開店廣告。開店廣告。

利 森仲買店。利 森仲買店。利 森仲買店。利 森仲買店。利 森仲買店。利 森仲買店。利 森仲買店。利 森仲買店。

天 晴れ。天 晴れ。天 晴れ。天 晴れ。天 晴れ。天 晴れ。天 晴れ。天 晴れ。

櫻井町大正
電話八七三番
一月十三日新宮氏と赤磐
實時並聯英佛の勲目
奇術女魔術の伊太利アン
泰西大悲劇 母の情 全三巻

客となり可憐の幼児は浮世に

[illegible][illegible][illegible]

新三石炭

品質が持に秀れて居るので
 嚴冬の水でお使ひになつても

些も變りなく

快く使へます

花王石炭製造元
 東京長崎町 長瀬商會
 總香水國東代理店
 大隈安土町 大崎組商會
 花王石炭國東代理店

常い大参數の需用に込にわて
絶えず新鮮の商品を提供する

品質本位

花正石除

つて採用せられるのは
總て花正石廠です


七日ツグタラ鏡をどうも色白くなるゲンシ液

今東京で大評判の白美の元素色黒き顔赤き顔日ヤケおしろいヤケ、アレを飲みキメをコマカ根本的色白く眞の美人美男子と、
 全國の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時代金丈の郵便切手を付せば送品。東京和泉橋常ゲンシ液本舗 松本藥店

常こ大影響の信用で魚よして

流水は凍らず

帝國陸海軍、帝國大學、赤十字病院、慈惠病院、鐵道院、傳染病研究所等の秘密なる實驗に依

事實に於て

特約販賣店 佐藤牧太郎
 同 本町三丁目
 特約販賣店 明治屋支店

目^めに梅^{うめ}の花^{はな}！
 耳^{みみ}に鶯^{うぐいす}の聲^{こゑ}！
 此時^{このとき}口^{くち}は爽快^{そうかい}を感じ^{かん}じたら
 如何^{いか}も愉快^{ゆかい}であらう
 皆^{みな}さん此^{この}の爲^{ため}に
 仁丹^{ジンタン}の御携帶^{ごけいたい}を
 お忘れ遊ばすな

醇良清酒

大阪府堺市
 肥塚源次郎
 醸造賣元

三田玉子製造合名会社製造
 發賣元大阪府堺市飯田町南左

數の多い中その所産は全量遠
 邦買上り最優良品御記願
 せ願まう

京成本町二丁目

(122)

杜鵑一聲

れが勝家後の頼みおさる。草帽に兩手を突いて、慇懃に叩頭した。利家は對へては無かつたが誤んで命を傾いた。

勝家はまた膝を緩けて、『いや緩々ど休息致して、人馬の足も休まつておさる。去りながらいかう空腹に珍りに申した。御無心ながら湯漬一椀ふるまうて下されたら』と所望した。

『是れば心付なき事を致した。唯かし御空腹に在りますや。直に差上げ申すでおさる。』

利家は快よく承諾して、やがて湯漬の膳部に、肴幾種か取り添へ瓶子を出して響應した。勝家は快よく杯を舉げて、利家とも献酬したので縁分湛酒をよく食ひ、

「お蔭を以て、元氣も恢復我した。此勢みにて、夜間に北之庄へ入り申さうぞ」と一體述べてうち立つた。

路次の程も如何おさる。切ては境近くまで御見送り申しませう。」

利家が立つを押し留め
『もはや領國に入つたもの同然、必らず許させられいこと、強て辭して立ち出でな。利家は城外までは送つて最後の袂を東風に別つてであつた。

停滯の次に來るべきものは下落た實際僕生の餘裕がありすぎず陸のだ。さらば君永久に緊張の生生き給へ。都は寒いだらう。月日はね珍珠らしく雨天氣だ。教育のルモ憐慈きくに響くわ。五二九

(二)葉會三回何曾即吟

深山園雪の下間や岩燕
枝咲や露の菜垣に集ふ人馬の人壽に朝千けられたり

三六
秋疾やお光出るさつき類富士か根銀麁の白鳥籠

加日(二)月あかりの橘の上振かけへり友かきする

帝史典皇京原屋堂華山菫花田民豐豊萬由菫田

他ド思く職き座敷のある等は俵内
胃腸の變化より生ずる一種のトキ
シに原狀よりものなれば内服薬にシ
て治療するを正則とすラスターは此等
の皮膚病に良効ある内服薬にして同
時に胃腸を輕く身體を健全とす法交
は三錢郵券十枚入手して東京下谷區
上板橋町百十一番地金澤山石堂へ申
込む時は直に送券すべし

金儲けは有望なる専
賣品に限る歌來
川空行中の電燈浮
世に文字浮
又は分規約す見本規則書一版發
東京本郷區神田町

目ニ見ヘテ
ズンぐトキク
ジマズイタマヌ
井上博子

目薬

贊化病院

東京本町二丁目
電話四二番

入院隨意 普通病室並隔離病室

院長 醫學博士 古城憲治

尿・便・血液・咯痰等臨床的検査の依頼に應ず（毎日五名を限り無料施療す）

材木建具

佐藤 銃砲店

電話三二番

鑛山火藥

（町錦路大）

同 材木部

電話一六八番

アールター

販賣特約

巴薩行 樋口米太郎

電話四三四番

京城電氣株式會社製
久保田鑛山所代理
電氣用品工事設計請負
同 支店

石 財 販 賣（當方持山）

攝津灘

大塚醸造所吟製

京城本町二丁目

發賣元 前田 酒店

電話一三七番
撥登口座四二五

[illegible][illegible]

婦人科
中央婦人病院
京成旭町壹丁目
院長 衣笠茂
電話三四〇番


御姫は、
「凡そ君の言葉が僕としてはこやうな
嬉しい。對象が君である云ふ事

参る
みへ向たるに過ぎない」
ハ君一併しその合理に矛盾した平

は
權威もない。語それ自身も經濟文藝
人の唇に常に弄れる平凡な口並

進歩するに足る。定實金世族大府東
本町二丁目日本銀行

婦人衆聖二月號一婦ハ歸よりして原稿を
致謝と判す。上竹村生てのてふまゝ明
寫し世々傳へたるはどやもの時代の物
或は斯所感動して新舊博士、尚平三郎
愛知縣德田地方商人の件を以て讀か
う。定實金廿五。東京市京橋區榮町一
東京社


 株式會社
百三十銀行
 東京支店
 電話 國五八番一四番
 振替貯金京城一四番
 銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
 爲換取組先は内地各方面並朝鮮鮮要の地に有之候

... ..

五月	四月	三月
限	限	限
二二八	二二七	二二六
二八〇	五〇〇	九〇〇
二二八	二二七	二二六
二八〇	五〇〇	九〇〇

大い勝安を愛ひて九十七歳と抑したるも後馬中
限は僅れより買物酬はしたるが買向より手口なく
依然強硬を弄したるより無功に下したるが九

[illegible]